

歯科材料 01 歯科用金属
管理医療機器 歯科鑄造用銀合金第2種(70778000)

アルチメットシルバー

【禁忌・禁止】

本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

＊＊【形状・構造及び原理等】

1) 本品は直径 2mm～6mm の粒状金属

2) 成分・分量

成分	分量 (W/W%)
銀	71.0
パラジウム	0.5
亜鉛	5.0
インジウム	20.5
その他：錫	

＊＊3) 仕様

JIS T 6108:2005「歯科鑄造用銀合金」の第2種に該当する。

ビッカース硬さ	131HV
引張強さ	328MPa
伸び	13%
液相点	700℃

＊＊【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物又は装置の作製に用いる。

＊【使用方法等】

1) スプルー線

スプルー線は 1.5mm～2.0mm のものを短くして使用すること。

2) 埋没

埋没材はクリストバライト系埋没材を用い、ライニング材で内張りすること。

＊3) リング温度

700℃でワックスを完全に焼却後、炉外に取り出し、室温で約 400～500℃になるまで放冷してから鑄造すること。放冷時間が短いとリング内で鑄造体がオーバーヒートし、鑄巣、脆化の原因となるため注意すること。

4) 溶融・鑄造

溶融は合金がオレンジ色に輝き始めたら、フラックスを少量加え、全体が鏡面状になったら直ちに鑄造すること。鑄造後は室温までリングを放冷してから鑄造体を取り出すこと。水中での急冷は鑄造体の脆化の原因となるため避けること。

【使用上の注意】

1) 使用上の注意

- ① 合金の鑄造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
- ② 本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- ③ 本合金を再溶解する場合には、サンドブラスター等で埋没材、酸化膜を完全に除去し、新しい合金を等量以上加えて溶解すること。
- ④ 他の合金と混溶しないこと。
- ⑤ 本品付属のフラックス使用時には局所排気装置、換気扇を使用し、発生するガスを吸引しないこと。
- ⑥ 本品付属のフラックスが目に入った場合は、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。

⑦ 本品付属のフラックスが手肌に触れた場合は流水で洗浄すること。また過敏症状があらわれた場合には、使用を中止し、医師の診断を受けること。

⑧ 本品付属のフラックスを飲み込まないように注意すること。飲み込んだ場合は多量の水を飲み、医師の診断を受けること。

2) 重要な基本的注意

- ① 本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ② 本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた術者は、使用を中止し、医師の診断を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：山八歯材工業株式会社
電話番号：0533-57-7121
FAX番号：0533-57-1764
e-mail：box@yamahachi-dental.co.jp